



外国出張報告書

平成28年3月11日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成28年2月
3. 出張目的 海面複合養殖技術開発成果の取りまとめに関する打ち合せ：C

4. 成果の概要

本プロジェクト課題のカウンターパート機関である東南アジア漁業開発センター（SEAFDEC/AQD）の担当者との打ち合せを行うためフィリピンイロイロ市に赴き、今年度が最終年度となる5か年のプロジェクト成果の取りまとめ及び今後の方向性について担当者と打ち合せを行った。打ち合せでは、今中期計画で得られた多栄養段階複合養殖（Integrated Multi-Trophic Aquaculture、以下、IMTA）に関する知見を今後普及マニュアルとしてとりまとめることとし、そのために必要な論文発表ならびにより汎用性のあるマニュアルとするためのケーススタディの追加に関して具体的な計画を検討した。また、本プロジェクトでのIMTA実証試験の主生物であるミルクフィッシュが大規模に養殖されている地域からIMTA実証試験への協力依頼があり、外部資金への応募を含め実施の可能性を検討することとした。